

東日本大震災支援プロジェクトこうち の支援経過

高知県ボランティア・NPOセンター
所長 間 章

高知県の避難者の状況

2011年4月10日時点

○避難者数 12世帯40名（公営住宅入居者）
被災地 宮城県、福島県、栃木県など

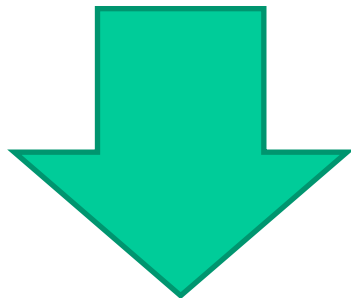
※親族や独自に避難された方の実態は、現在
高知県が確認中

○高知県へ避難した理由

※親族や知人を訪ねて来られた方が多い

避難者の課題

- 生活物資を所持していない
- 生活資金がない
- 人間関係が希薄
- 精神的ストレスを抱えている



- 県民の何かしたい気持ちをつなげる
- 必要な生活物資の支援する
- 高知流のおもてなしを行う

「東日本大震災支援プロジェクトこうち」の設立

目的

東日本大震災において甚大な被害を受けた被災者ならびに被災地の支援を行うことを目的

構成団体

特定非営利活動法人NPO高知市民会議
（高知市市民活動サポートセンター）
社会福祉法人 高知県社会福祉協議会
（高知県ボランティア・NPOセンター）

「東日本大震災支援プロジェクトこうち」の概要

活動内容

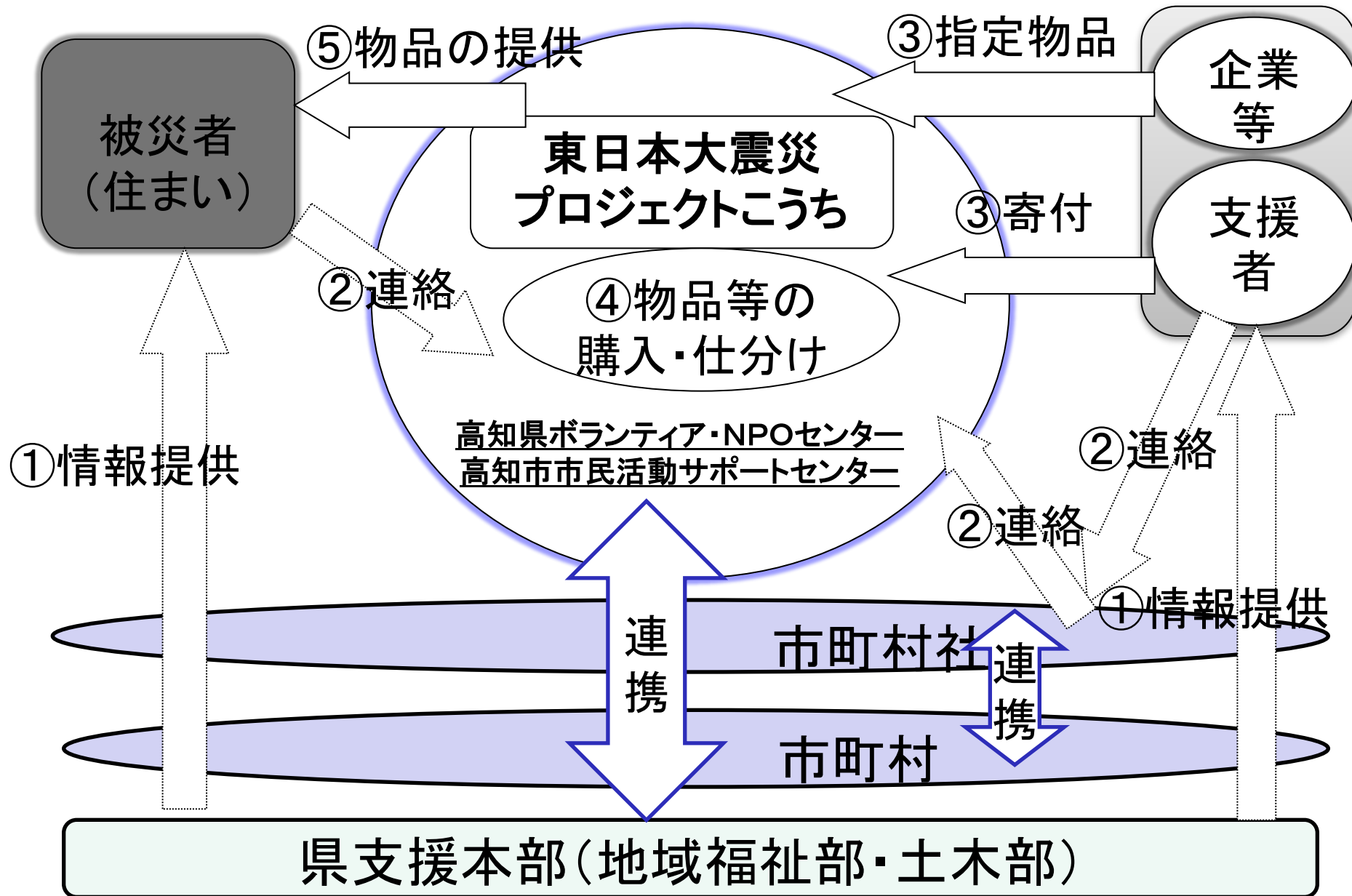
- ①高知県内に避難してきた世帯を対象とした生活物資提供等の支援
- ②被災地への物資提供等の支援
- ③支援のために必要となる資金等の寄附募集活動

活動期間

2011年4月22日から2012年9月30日

※2011年度は、高知県より、県内に避難された被災者に対する日常生活支援事業(緊急雇用事業)を受託
1,575千円→2,160千円

県内にいる被災者への生活支援の仕組み



高知県に避難された方への支援

避難者の受入状況

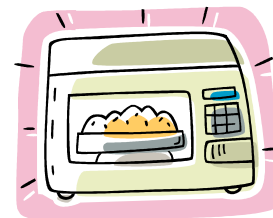
	人数
	12世帯40人
4月	3世帯
5月	0人
6月	3世帯3人
7月	6世帯17人
8月	0人
9月	4世帯12人

	人数
10月	0人
11月	0人
12月	4世帯9人
1月～3月	3世帯7人
4月～9月	3世帯4人

【高知県把握数】※2012.3.31
47世帯109名

高知県に避難された方への支援

①日常生活物資等の提供



①家電製品

掃除機、扇風機、洗濯機、冷蔵庫、テレビ、
電子レンジ、炊飯器など

②調理器具

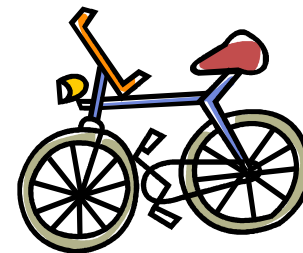
ガスコンロ、鍋、フライパン、食器

③その他の生活用品

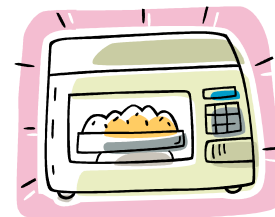
布団、テーブル、椅子、自転車

④食べ物

お米、高知の特産など



高知県に避難された方への支援



物資提供団体等

高知県電気商組合、高知県LPガス協会
一俵入魂たねびの会、四万十ドラマ、倉松商店
カフェ・ド・グラス、県内NPOなど

寄付金受付総額

(2012年9月30日現在)

総額 1,742,700円

高知県に避難された方への支援

物資仲介・給付 (2012年9月30日現在)

物資	台数	物資	台数
扇風機	20台	冷蔵庫	9台
掃除機	21台	洗濯機	3台
ガスコンロ	16台	テーブル	7台
自転車	36台	布団	15組
テレビ	9台	カーテン	8世帯

※その他食器棚、衣装ケース、調理道具、給湯器、
じゅうたん、電子レンジ 3段ボックスなど仲介 計223個

※岩手県、宮城県、福島県、栃木県(一部)の被災者
には、日本赤十字社から家電6品の支給有り。

高知県に避難された方への支援

②エアコン購入助成金の支給

公営住宅への入居者等を対象に実施

20,000円 × 8世帯

③ニュースの発行等

高知の地域情報や提供物資情報など

①NEWS第1号(2011年6月15日発行)

②NEWS第2号(2011年8月8日発行)

③NEWS第3号(2011年10月12日発行)

被災地の支援活動

①扇風機の送付(2011年7月～8月)

仮設住宅での暑さ対策を目的

岩手県釜石市・大槌町へ 93台

②土佐暑さしのぎセットの送付(2011年8月)

仮設住宅での生活をくつろいでもらうことを目的
土佐てぬぐい、四万十ひのき入浴剤(木片)など送付

岩手県大槌町へ 105セット